

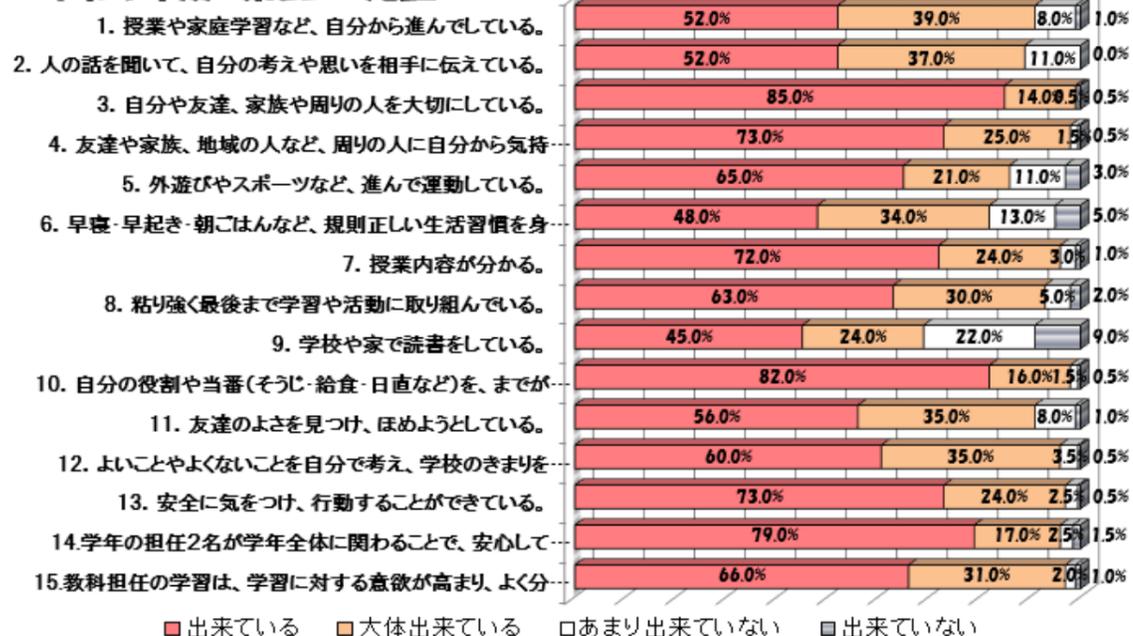
第2回学校評価アンケートの集計結果について

寒さの中にも春の訪れを感じる季節となりました。平素は本校教育活動の推進にご理解ご協力をいただき、誠にありがとうございます。12月に実施した第2回学校評価アンケートの結果をご報告いたします。前回同様に、3校(花山中・鏡山小・陵ヶ岡小)で統一した項目(1~6)と、本校の学校教育目標に照らして学習面や生活面を振り返る項目の結果で様子を見ていきます。「3月臨時号」では、主に現況や第1回(7月)の結果との比較、今後の方向性等についてお伝えしたいと考えております。お忙しい中、学校評価アンケートにご協力いただきありがとうございました。

学校教育目標

自ら探究し、つながり合い、未来を拓く陵ヶ岡の子
 ~探究力・人間力・自分力(3Motto)を育む陵ヶ岡教育の創造~

令和7年度 第2回 児童



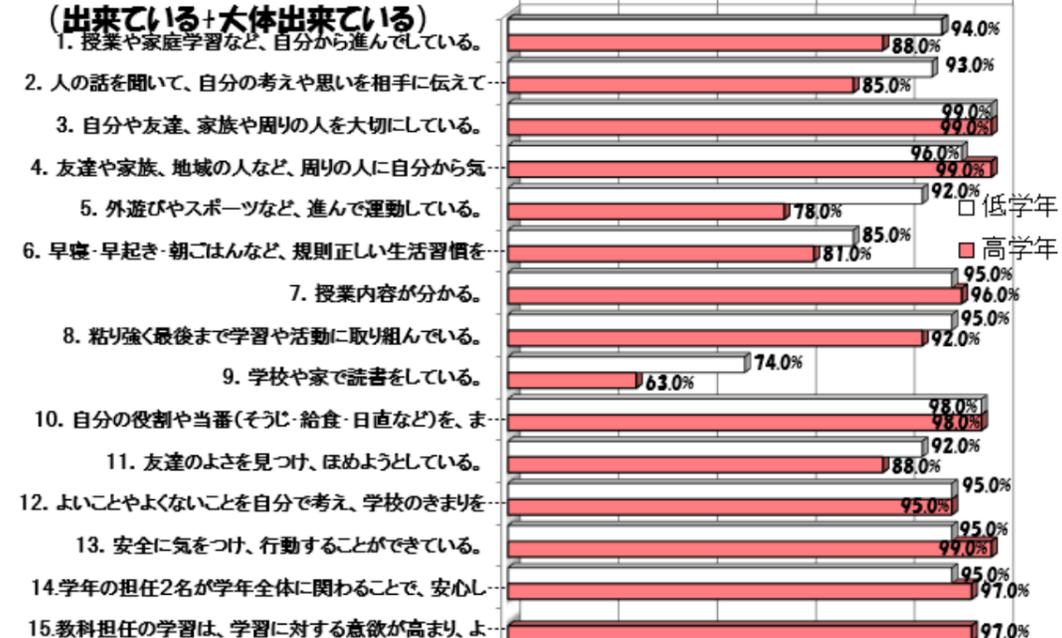
☆児童のアンケート結果より

第2回アンケート結果(左記)の15項目中11個の項目が、90%程度「できている・おおむねできている」となっています。この結果から、児童の多くが安定した学校生活を送っているといえます。特に、「自分や友達、家族やまわりの人を大切にしている」「自分の役割や当番を最後まで頑張る」で学校全体の数値が高いのは、本校が目指す児童の資質・能力である「人間力」や「自分力」が高まっている証であり、誇るべき結果です。今後も人と豊かにつながるができる人間力を高め、自分の役割に責任をもち、自分で目標を決め、最後までやりとげることができる主体性を育み、さらに自分力を高めてほしいと思います。今後も未来を自分で切り拓く力高めようと頑張る児童の姿を本校独自の取組である Sunlight の取組を通して児童の頑張る行動を見える化し、学校・家庭・地域が連携して児童を見守り、励ますことができれば幸いです。

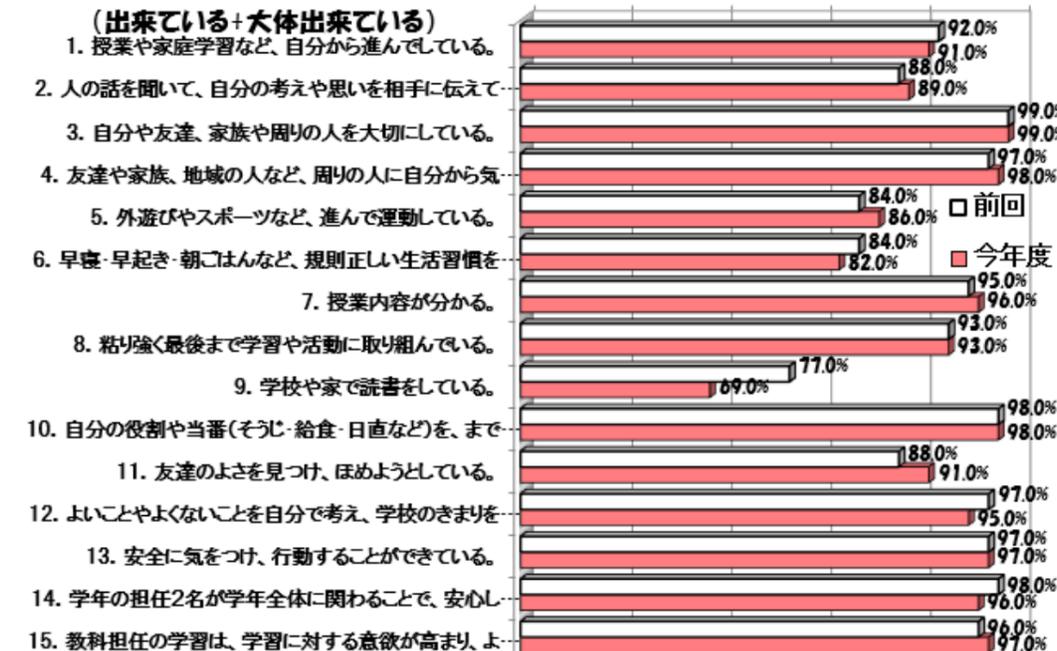
また、昨年度より追加した「学年の担任2名が学年全体に関わることで安心して学校生活を送ることができる」「教科担任の学習は、学習に対する意欲が高まる」については、「できている・おおむねできている」がどちらも95%以上の結果となっています。7月に実施したアンケートと比較すると数%の変化はありますが、学級を基盤としつつ学年全体を2名の担任が関わることで、児童の安心につながっているといえます。また、3年生以上の学年は、教科担任制に取り組んでいます。担任以外の教員が担当する教科を指導することで、児童の学習に対する意欲の高まりにつながっているといえます。今後ともこの2つの体制を基盤としつつ、継続していくことで児童にとってより安心して過ごせる学校となり、安心して過ごせる学校は、より前向きに学習に取り組む態度を育み、本校が育てたい資質・能力である「探究力」が育成されると考えます。

しかし、気になる項目として、「学校や家で読書をしている」は、前回より8%下がっています。特に、低学年と高学年を比較すると、高学年になるにつれ、不読率が高くなっています。本校では、「図書ボランティア・mm スマイル・タヤケ図書館」の3団体の皆様が児童の読書活動推進のために、ご尽力いただいております。この取組の成果として図書館を身近に利用する児童が増えました。これからは、「常に手元に1冊の本」を合言葉に、時間が少しでもあれば本を読む習慣を身に付けることができるように取組を進めていきたいと思っています。

令和7年度 第2回 低学年と高学年



前回(今年度7月)と今年度12月の比較



☆今後の方向性と取組

今回の結果を踏まえ、例えば下記のような取組を実践するなどし、児童の変容を促したいと考えます。

【主体性・対話力を高めるために】

- ・1往復半以上ある「やり取り」を大切に授業
- ・ねらいを明確にしたペア・グループ活動の充実
- ・「ふり返り」から次の問いを児童自身が生み出す授業

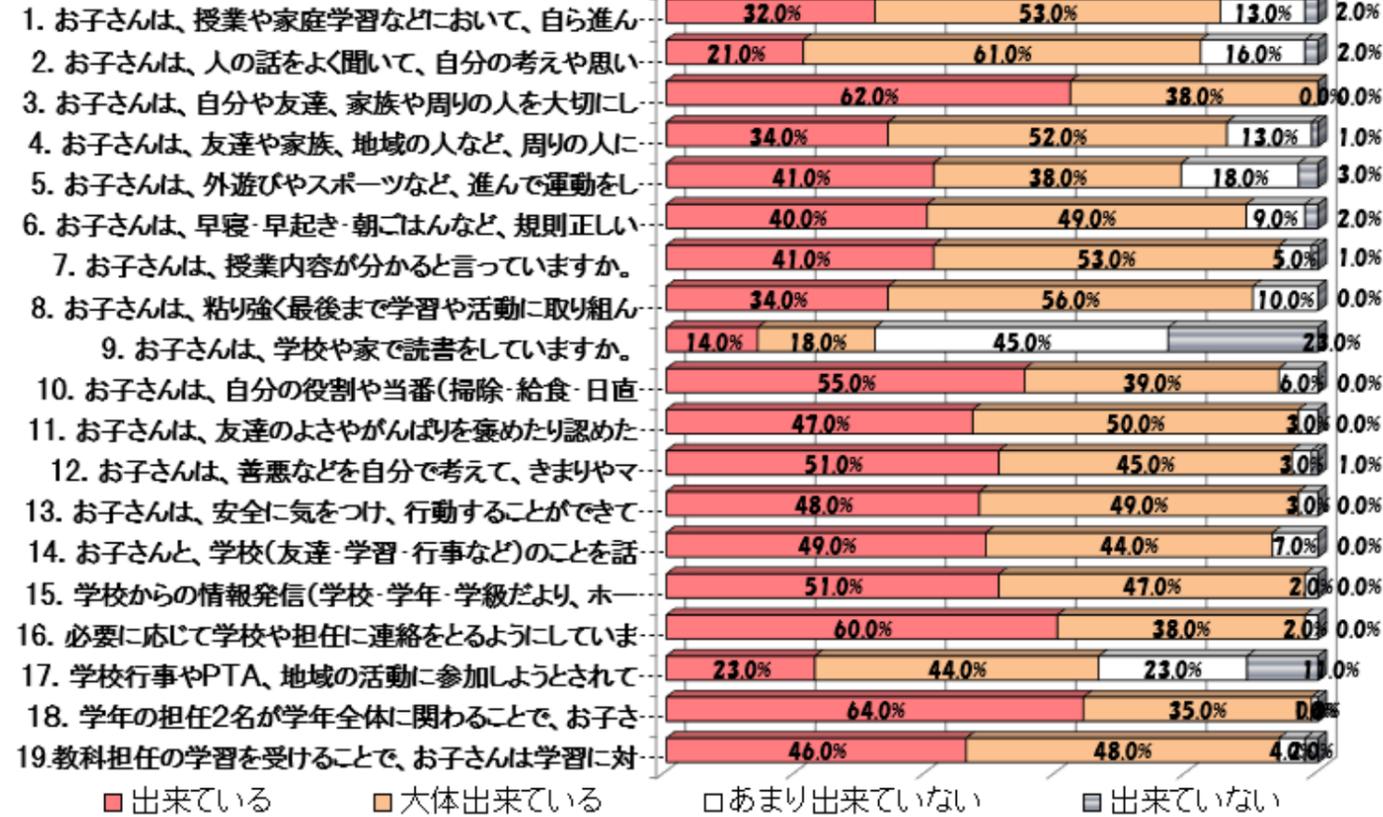
【読書への関心を高めるために】

- ・朝読書と図書ボランティア、タヤケ図書館による図書館の開館やmmスマイルの読み聞かせの継続
- ・〇〇のおすすめ本紹介
- ・委員会の多様な企画(読み聞かせ、読書会、しおり作成等)

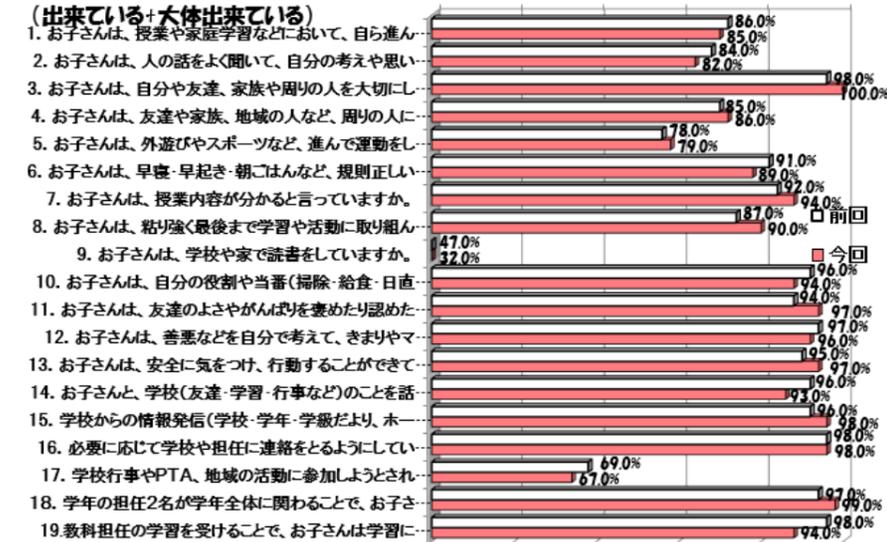
【運動・規則正しい生活を意識するために】

- ・外遊びの推奨(学級・学年・学校単位で実施)
- ・長期休業中・長期休業明けの生活習慣の確立に関する取組の継続

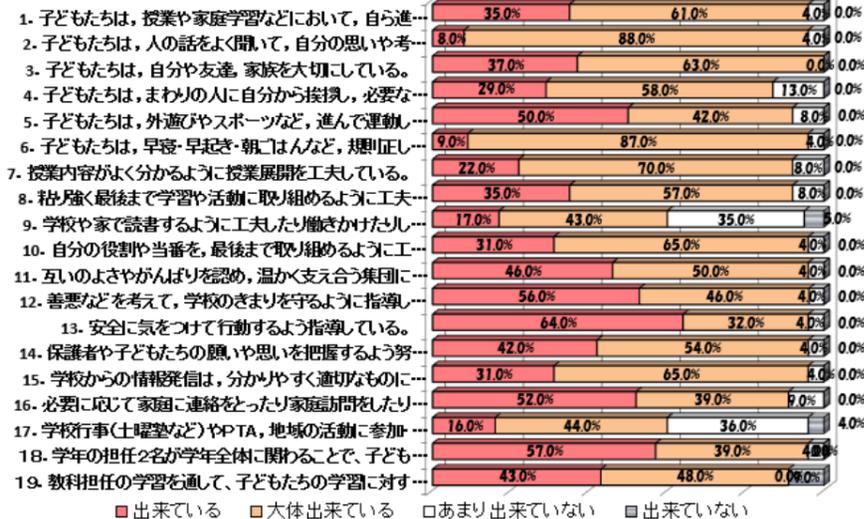
令和7年度 第2回 保護者



前回7月と今回12月の保護者比較



令和7年度 第2回 教職員



☆保護者アンケート結果より

「3. 周りの人を大切にしている」については、児童・保護者ともに9割強という結果でした。本校が重点を置いて取り組んでいる学級経営や学年経営を基盤とした「自分や人を大切に」の取組の成果だと嬉しく思います。

「9. 読書」については、「出来ている・大体出来ている児童は7割強という結果でした。しかし、保護者の皆様の回答では、3割という結果でした。この結果から、児童は学校では読書をする傾向はあるものの、家では、読書をする傾向が低いのではないのでしょうか。家では、読書よりテレビやゲーム、インターネット、YouTube、SNSなどの時間が増えているのかもしれませんが。読書は児童の成長に大きな効果をもたらします。国も子どもの「読書離れ」を危惧しています。1か月に1冊も本を読まない「不読率」の割合は、年々上がっています。小学生のうちに読書習慣を確立することが大切です。身近な大人が「読書を楽しむ姿を見せる」など読書への誘いを意図的に行ってみるのも一案です。日々の忙しさや生活のデジタル化を理由に読書から距離が生じてしまっているご家庭は是非この機会に、読書に関わる取組を取り入れていただければと思います。学校としても児童が読書に親しむ機会をさらに設定し、児童が進んで読書に取り組める環境を整えていきたいと考えています。

「15. 学校からの情報発信」については前回同様9割強と高い結果となりました。デジタル連絡ツールである「すぐーる」の定着が要因と言えそうです。本校の設定率は100%と非常に高く、ご理解・ご協力に感謝申し上げます。欠席の連絡をしたり、プリント類や連絡事項をお手持ちの端末で簡単に確実にご確認いただいたりする機能は、大変好評をいただいております。また、ホームページに児童の様子を掲載することで、保護者の皆様に日々の様子をお伝えしています。引き続き、本校のホームページを検索していただき、児童との会話に生かしていただけたらと思います。

昨年度より追加項目としてお尋ねした「18. 19」の項目に関しても前回同様9割強の結果となりました。学級を基本としながら学年としてのつながりを深める取組を今後も継承していきたいと考えています。

【こんな取組をしてみませんか？】

子どもがより充実した学校生活を過ごせるように、例えばこんな取組をご家庭でも取り入れてみてはいかがでしょうか？

《読書好きな子に! (案)》

- *家族で「毎日10分読書タイム」
- *地域の図書館に一緒にお出かけ
- *デジタルデトックスデー(TV・PC・ゲームなしの日)
- *我が子へおすすめブック

《進んで学ぶ子に! (案)》

- *取り組んだ家庭学習の「いいところ見つけ」
- *大人も共に一緒に楽しく学ぶ

《よりよい生活習慣へ!》

- *就寝前は画面を見ないようにし、良質な睡眠へ
- *早起き&登校時間(8時~8時20分)までの朝学習や朝読書
- *親子ウォーキング・ランニング

☆保護者アンケート記述欄より

お忙しい中、貴重なご意見を寄せていただきありがとうございます。頂戴したご意見は、今後の学校改善に活かしてまいります。全てをご紹介することは紙面の都合上叶いませんので、代表的なご意見をいくつか掲載いたします。

- ・子供達のことを、丁寧に様子を見て頂いて感謝しています。
- ・幼保連携で繋がりを作ったり畑の先生など地域の方から様々なことを教わったりしながらたくさんの人と関わりを持てる環境を作ってください。素晴らしいと思います。
- ・行事も工夫されておりとても充実しております。先生方のサポートもとても心強いです。
- ・タブレット学習はこれからもぜひ行ってほしいですが、家への持ち帰りの際かなりランドセルが重いようなので他の荷物を減らせるように何か対策をしてほしいです。
- ・ゲーム依存、スマホ依存についての学び、考える機会を増やしてほしい。

学習ボランティア RSST (Ryogaoka Study Support Team) の活動について

畑の先生方には、1年間を通して校内菜園体験活動をサポートしていただき、タマネギ、ジャガイモ、サツマイモ、ダイコン、カブの収穫体験をすることができました。部活動の先生方には、バレーボール、サッカー、ランニングクラブ、和太鼓を指導していただき、児童の技術向上をサポートしていただきました。歴史の先生方には、総合的な学習の時間で陵ヶ岡学区の歴史について教えていただきました。料理の先生方には、調理実習の調理をサポートしていただきました。科学の先生方には、科学クラブの活動で、小学校にはない実験器具を使って、楽しい実験をしていただきました。福祉の先生方には、障害のある方々へのサポートのしかたを教えてくださいました。本当のありがとうございます。来年度もRSSTを募集します。是非、本校の児童のために、ご登録いただければ幸いです。